

救急車の呼び方って



誰もが慌ててしまう「119番通報」

少しでも早く救急車を到着させるために、指令員の質問に正確に教えてくださいね。

質問されるのは、次の項目です。日頃から準備をお願いします。



- 住所（町名、地番、目標、両隣の家など）
- 救急車が必要な人の情報：年齢、性別、症状など
- かかりつけの病院
- これまでにかかった病気など
- その他に必要な情報は指令員が質問します。

119番通報で困るのは次のような通報です。

- 慌てすぎて会話がなりたたない
- 場所を言わない
- 自分の言いたいことだけ言う
- とにかく早く！と言って電話を切る など



119番通報（救急車の要請）のポイント



- 慌てない、焦らない。
- 通報前に深呼吸。
- 指令員の質問に答えるよう心掛けて。
- 出来るだけ落ち着いて、正確な情報を提供いただけると、迅速な救急車の出動につながります。
- 救急隊の処置器材の事前準備にもつながります。

電話機によって違うこと

最近のスマートフォン普及率は目を見張るものがありますね。
便利なのですが、119番通報時に役に立つ場合とそうでない場合があります。
ご存知ですか？



固定電話と比べてみるとこんな違いが…

おうちの電話（固定電話）

- 場所が特定しやすい。
- 患者の傍に近づけないことがある。
- 通話品質が電波状況に影響されにくい。 など

携帯電話（スマホなど）

- 場所が特定しにくい。
- 患者の傍に近づける。
- 通話品質が電波状況に影響される。
- 他都市に繋がる場合がある。 など

※携帯電話は、屋外での事故等の通報には、事故状況を見ながら通報できるので便利ですが、場所の特定には通報者が目標や住所を把握する必要があります。

スピーカーホン機能を知ってる？

• 口頭指導（応急手当の指導）

症状が重篤な場合に、指令員から応急処置をお願いすることがあります。

携帯電話や固定電話子機のスピーカーホン（ハンズフリー）機能を知っていれば、心肺蘇生法などの救命処置を電話機を持たずに有効に行う事ができます。



スピーカーマークを押すと電話機を持たずに通話ができます。